

# 御船祭り盛大に斎行

9月27日、子孫繁栄・五穀豊穰を祈る例祭〔御船祭り〕が今年も盛大且つ厳粛に斎行されました。また、奉納ステージでは子供達のお囃子や民踊など賑やかに開催され、大勢の方が神社を訪れ例祭をお祝い申し上げました。



両町区大人船  
〔鬼無里の紅葉伝説の場面〕



穂高区大人船  
〔平重盛が清盛を諷めるの場面〕



穂高区子供船  
〔川中島の戦い・山本勘助討死の場面〕



穂高区子供船  
〔池禅尼が源頼朝を助けるの場面〕

発行所  
穂高神社社務所  
創刊 昭和52年2月  
〒399-8303  
長野県安曇野市穂高6079  
電話 0263-82-2003  
FAX 0263-82-8770

お正月には新しい  
お札を、おまつり  
しましょう。



◎穂高神社讃歌  
・安曇野に 菊の御紋の 宮居あり  
穂高見命 海の祖神  
・明神の 碧潭の池 幽邃に  
龍頭鷄首の御船は 清雅に

御船祭り翌日の28日、翌日祭終了後、神楽殿においてテノール歌手鈴木哲也先生と、このはな桜会有志三名により「穂高神社讃歌」歌碑建立10周年記念奉納首舞台が行われました。神楽殿にて琴、オカリナなど用いて六曲の演奏を奉納頂きました。



等々力町区子供船  
〔平知盛、滅びの時を悟るの場面〕

# 奥宮御本殿・別宮神明社 修繕

現奥宮御本殿は昭和52年、本宮別宮神明社は昭和4年に建てられ、昭和34年頃に銅板に葺き替えられたもので2社とも長年の雨風などにより千木・勝男木が老朽化しており奥宮御本殿を6月、神明社を9月に修繕いたしました。

## 〓奥宮紹介〓

中部山岳国立公園の中心地で山紫水明の明神池畔に鎮座。神域1万6千坪（昭和25年11月1日官有地の無償譲与）の自然庭園である。日本アルプスの総鎮守、海陸交通守護、登山安全の神を祀るに最もふさわしい浄地である。



奥宮御本殿

例祭（御船神事）は、上高地が色鮮やかに染まり始める10月8日に斎行され神事後、龍頭鷓首の御船2艘が明神池を1周する。

御船は平安朝の頃、上流社会に於いて盛んに用いられたもので、龍は水を渡るに最も速いもの、鷓は風に耐えるに最も強いものとされ、万物の安鎮、天下泰平を祈っている。



神明社

## 〓神明社（子供祭）紹介〓

神明社は、天照大御神を御祭神として伊勢の神宮を総本社とする神社である。

例祭は9月10日前の土日に、穂高区疫神社、等々力町区八幡社、穂高町区神明社の3社合同で子供祭として行なっている。  
※昭和33年に祭典統一となり、旧例祭日は疫神社9月4日、八幡社9月15日、神明社は9月16日。

## 子供相撲大会開催

9月8日、子供祭宵祭の日「第13回子供相撲大会」が開催され、小学校1年生から6年生まで学年ごとにトーナメント戦で取組みを行い70人の豆力士達が熱戦をくりひろげました。

勝って喜んでいいる子、負けて悔し涙を流している子もいたがそれぞれ真剣勝負で素晴らしい取り組みで、取組みが終わった子たちは「緊張したが楽しかった。来年も参加する」「来年こそ優勝する」など来年に向け意気込んでいました。



### 宮内庁 手塚英臣 掌典長御来社

去る9月13日に手塚掌典長御夫妻が当社本宮にて正式参拝、御船会館を見学されました。翌14日には上高地奥宮に御参拝を賜りました。



※掌典職：国家行政機関たる宮内庁の組織とは別の内廷の組織で、日本の皇室において宮中祭祀をつかさどっている。掌典長統括の下に掌典次長・掌典・内掌典などが置かれている。

### 靖国神社宮司 京極高晴氏の「声」

6月29日靖国神社御創立記念日に齎行しております献詠披講式兼題「声」におかれまして、京極宮司様は5月2日わさび御料圃祭参列で詠まれました和歌を、献詠歌として御供え頂きました。

みすずかる信濃の山葵御料圃に  
遺族の長の聲ぞ厳しき 高晴

### 第11回神社スカウト全国大会に参加

神社本庁が主催する第11回神社スカウト全国大会が8月7日から10日の4日間に亘って三重県伊勢市で開催され、当团からは6人の参加、台湾からも31人が参加し、全国より1、600人が集まり様々な行事を通して交流を深めました。大会期間中はテントを設営、配給された食材で料理をし、神宮参拝行進、「せんぐう館」の見学、猿田彦神社や神宮神田などを巡る史跡探訪などの体験をしました。

スカウトらは、神宮や遷宮にふれることができ、又全国のスカウトと交流ができてとても貴重な経験となる大会でありました。



### 祝 安曇野IC記念講演開かれる

去る10月6日2時より、穂高神社参集殿に於いて、翌7日の長野自動車道豊科ICより安曇野ICへの名称が変更されるのを祝いし、記念講演会が開かれました。

講師には山崎喜治先生をお招きし「安曇野」名前が語る風土と歴史」と題して約1時間半にわたり話されました。

山崎先生は、松本歯科大学非常勤講師のほかに、長野県詩人協会理事長や古代史研究会会員、江戸時代に初めて穂高神社を紹介した安曇野の先覚者高島章貞顕彰会の常任理事をもしておられ、豊富な知識をもって「安曇野」の語源や古代にさかのぼって安曇野の地質地形など住民の生活文化に影響を及ぼす自然環境や安曇族と穂高神社の歴史、そして安曇野の伝統文化をパソコンとプロジェクトによる映像をふんだんに取り入れ詳しく解説されました。

#### 聴講した30

名の人は「自然科学や歴史など様々な分野からの話で安曇野のなりたちがあったように思う」と語っていました。



# 崇敬会通信

本年総会を去る9月9日(子供祭の日) 穂高神社参集殿に於いて開催され、会員30名の出席を賜りました。議案はすべて満場一致にて可決頂きましたこと、衷心より御礼申し上げます。

また、総会に若林健太参議院議員にご臨席賜り、崇敬会顧問をお願いしたところ快く引き受けて頂きました。

## 穂高神社崇敬会入会のご案内

安曇野が誇りとする二十年に一度御本殿一殿を造り替える式年大遷宮祭と北アルプスのふもとの安曇野が心と技を捧げる御船祭は、長い歴史の中で培われた安曇野の文化と信仰を象徴しています。

海の恵みと山(陸)の幸を併せ持った御神徳は広大無辺であります。

皆様方には穂高の大神様とより一層深い御神縁を結ばれ生き生きと栄え日々御護り頂けますよう「穂高神社崇敬会」のご案内を申し上げます、一人でも多くの皆様方にご入会頂けますようお願い申し上げます。

### 会員種別入会金(年会費)

- 一、個人会員 三、〇〇〇円
- 一、法人会員 五、〇〇〇円
- 一、名誉会員 一〇、〇〇〇円

## 崇敬会新入会員

### 個人会員

(平成24年5月1日〜平成24年10月31日)

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 藤岡 孝義 | 井上 忠士 | 宇田川泰伸 |
| 北原 由子 | 飯沼 家晴 | 田村 光男 |
| 高橋 伸光 | 齋藤 祐子 | 齋藤 有香 |
| 河西 章宏 | 河西 淳  | 佐々木 伯 |
| 山口 和宏 | 仁椒 正則 | 北嶋 喜好 |
| 大阿久和子 | 廣田 正則 | 日本 匡洋 |

穂高神社崇敬会は平成22年の発足よりまだ2年足らずですが県外からも多く入会を頂いております。

会員皆様の御協力により今後益々事業を推進してまいりますのでご要望・ご意見等ございましたらお気軽に事務局まで連絡下さい。



## 新年会承ります

鍋プラン(お1人様)3,000円から

- ・旬の鍋物
- ・さしみ
- ・天ぷら
- ・焼きもの
- ・小鉢
- ・しのぎ
- ・そば



(写真はイメージです)

※個人盛・盛り込み料理

お客様のご希望に応じます

飲み放題 2,000円 (お1人様)

ビール・日本酒・焼酎  
ソフトドリンク

※冠婚葬祭・各種イベント  
承ります。

## 穂高神社

### 「歴史と風土」写真集を出版

当神社の歴史と風土を写真を多用に使い氏子の皆様にわかりやすいように制作いたしました。社務所にて二冊500円でお求め頂けます。



穂高神社参集殿  
なごみてい  
『和美庭』  
TEL 0263-82-0118

新春祈願・交通安全祈願大祭の御案内

新しき年を迎え 一年の幸せを願ひ

今年も残すところあとわずかととなり、何かと気づわしい日々をお過ごしのことと存じます。今年度は、昨年の大震災より一年以上を経て、近年の高度な文化の中で大自然の力には人力など少しも及ばないことを痛感させられました。人々の助け合う心が寄り集い少しずつ復興が進んでおります。

今日、私達が当たり前のごとくに便利な生活を送れている事は、身近にまず「車の安全な運行があつてこそ」と言つても過言ではなく、交通が安全でありますことへの願ひは昔も今も変わりありません。

平成の御代となり四半世紀を迎える明年、交通の守り神として信仰が高い穂高大神様の御加護を受けられ、産業の発展にかかせない安全、御家庭・企業の更なる繁栄と暮らしへの安らぎがもたらされる年でありませう、謹んで新春祈願大祭のご案内を申し上げます。

一、期間 一月一日〜八日(受付九時〜十六時)

一、内容 交通安全、家内安全、事業繁栄、商売繁盛、厄除、八方除、試験合格、学業成就、病氣平癒、身体健全、開運招福、心願成就、安産、お宮まいり、初誕生祝い、災難除、職場安全、子授け、良縁祈願、夫婦円満、歩行安心、お礼参り、人形供養、他願ひ事。

一、祈禱料

普通祈禱 五、〇〇〇円 追加祈禱 三、〇〇〇円  
特別祈禱 一〇、〇〇〇円 追加祈禱 七、〇〇〇円  
交通安全祈禱

普通祈禱 一台につき 五、〇〇〇円

(二台目から三、〇〇〇円)

特別祈禱 一台につき 六、〇〇〇円

(二台目から三、〇〇〇円)

平成二十五年 一番祈禱のご案内

「ひとりひとりを受けられる成就の鈴被い」

年明け午前0時の時報とともに、初春のよこごびを神様にお告げし、天下泰平をお祈りする歳旦祭にひき続いて、新年の一番祈禱を斎行致します。二年参り・初詣には様々な願ひを胸に祈られる事と存じます。

そんな多くの願ひを必ず叶えていただけるよう、新年の巫女舞を加えた一番初めに一度しか行われないう大変貴重な御祈禱です。

御祈願内容のすべての願ひを込めて御祈禱致します。

一、祈禱料 一〇、〇〇〇円

お申し込みは、電話・ファックス・メールにてご予約下さい。

当日申し込みの方は、31日午後11時より受付致します。ご予約済の方は午後11時45分に拝殿授与所までお越し下さい。尚、ご参列不可能な場合は御神札等郵送致します。

【八方塞り:はっほうふさがり】

九星は人間の運勢や吉凶の判断に用いる九つの星のことで、九星年盤の中央に入る星を本命星といいます。

本命星にあたる方が八方塞りの年で、周囲八方ふさがれ、八方どの方位方面に向かっても不吉な結果を生じ障害があり、手の打ちようのない不安な年廻りとされています。

九星年盤 平成25年 八方ふさがりの方 (五黄土星・男女)



■男・女八方塞りの年まわり表 数え年

生まれ年	年齢	数え年
平成16年	10歳	昭和7年
平成17年	11歳	昭和8年
平成18年	12歳	昭和9年
平成19年	13歳	昭和10年
平成20年	14歳	昭和11年
平成21年	15歳	昭和12年
平成22年	16歳	昭和13年
平成23年	17歳	昭和14年
平成24年	18歳	昭和15年
平成25年	19歳	昭和16年
平成26年	20歳	昭和17年
平成27年	21歳	昭和18年
平成28年	22歳	昭和19年
平成29年	23歳	昭和20年
平成30年	24歳	昭和21年
平成31年	25歳	昭和22年

厄除・八方除の特別祈禱祭のご案内

平成25年厄年を迎える方、八方塞りの方はお祓いをお受けになり、大神様のご加護のもと平穏無事で明るく充実した生活をお送り下さい。

【厄年:やくどし】

古来より人生において心身の節目や責務の重き時期で事故、病氣、災難など障害の起きやすい年廻りとされています。

【厄年(覧表)(数え年)】

女性		男性				
61歳	37歳	19歳	61歳	25歳	前厄	本厄
昭和29年生	昭和53年生	昭和57年生	昭和29年生	平成2年生	平成元年生	昭和63年生
昭和28年生	昭和52年生	昭和56年生	昭和28年生	平成7年生	昭和47年生	昭和46年生
昭和27年生	昭和51年生	昭和55年生	昭和27年生	平成12年生	昭和42年生	昭和41年生
				平成17年生	昭和37年生	昭和36年生
				平成22年生	昭和32年生	昭和31年生
				平成27年生	昭和27年生	昭和26年生
				平成32年生	昭和22年生	昭和21年生
				平成37年生	昭和17年生	昭和16年生
				平成42年生	昭和12年生	昭和11年生
				平成47年生	昭和7年生	昭和6年生
				平成52年生	昭和2年生	昭和1年生

【高齢の厄年(数え年)】

産まれた年の干支がもとの干支に戻ることを長寿の祝とした60歳の翌年が通常の厄年の最後であることから、現代では長寿祝を迎えた年(古希70歳・喜寿77歳・傘寿80歳・米寿88歳・卒寿90歳)の翌年が高齢の厄年となります。

男女とも					年齢(祝歳の翌年)	生まれ年
91歳	89歳	81歳	78歳	71歳		
大正12年生	大正14年生	昭和7年生	昭和11年生	昭和18年生	昭和18年生	

厄除・八方除の特別祈禱祭は

1月12、13、14、15日に斎行致します。

各祭典行事

大祓式	12月31日午後3時
除夜祭	午後11時30分
元旦祭	1月1日午前零時
節分祭	2月3日午後4時
奉射祭	3月17日午後3時
秋葉社宵祭	3月23日午後8時
本祭	24日午前10時
勸学祭	3月31日午前10時
末社祭	4月8日午前10時
厳島社宵祭	4月17日午後8時
本祭	18日午前10時
穂高霊社宵祭	4月19日午後8時
本祭	20日午前10時
菅原社宵祭	4月24日午後8時
本祭	25日午前10時

節分豆まき

平成25年 年男・福女募集

来る平成25年2月3日午後4時に行われる節分祭の豆まきに、ご奉仕いただける方を募集いたします。ご希望の方は、神社までお知らせ下さい。

◎参加料…5,000円

神楽殿より福豆(景品付き)福銭をまきます。皆様の御参拝をお待ちしております。

穂高神社写真コンテスト

作品募集

安曇の祖神とする穂高神社本宮、上高地奥宮、奥穂高岳山頂に鎮座する嶺宮にかかわる風景・祭典など四季折々の穂高神社を映し出す作品を募集しています。

小中学生の部もありますので応募お待ちしております。

詳しくは穂高神社ホームページをご覧ください。

おみくじとは？

神社の豆知識

初詣など神社に参拝した際に「おみくじ」を引き、運勢など占われる方も多いかと思えます。一般的に「おみくじ」は、個人の運勢や吉凶を占うために用いられているわけですが、種類も色々あり、神社ごとに工夫も窺うことができます。その内容には、大吉・吉・中吉・小吉・末吉・凶という吉凶判断、金運や恋愛、失せ物、旅行、待ち人、健康など生活全般に互る記述を見る事ができます。穂高神社では男女みくじ(一言守入り)、恋みくじ(恋の縁起物入り)、手

新人職員紹介



くは た な み  
窪 田 七 海  
20歳  
大町市大町

巫女という職業に就きたいという強い思いがあり10月より伝統ある立派な穂高神社の職員として奉職させて頂けることになり感謝の気持ちで一杯です。日々の生活を神様に恥じる事のないよう過ごしていきたいと思

振りみくじなどがあります。

そもそも占いは、物事の始めにあたって、まず御神慮を仰ぎ、これに基づいて懸命に事を遂行しようとする、ある種の信仰の表れともいえます。例えば、小正月などにその年の作柄や天候を占う粥占神事(かゆうらしんじ)や、神社の祭事に奉仕する頭屋(とうや)などの神役を選ぶ際に御神慮に合う物が選ばれるよう「くじ」を引いて決めることなど、古くから続けられてきました。穂高神社では三月十七日、月の豊凶を占う奉射神事があり、「おみくじ」もこうした占いの一つといえます。「おみくじ」は単に吉凶判断を目的として引くのではなく、その内容を今後の生活指針とし

います。また、参拝者の方々に常に笑顔で対応し、何を聞かれても分かりやすい説明が出来るよう日々勉強し、1日も早く仕事に慣れ、先輩方のような巫女になれるよう努力してまいりますので御指導の程、お願い致します。

色々と初めての経験ばかりで戸惑うことも多く、人間としてまだまだ未熟者ですので皆様にご迷惑をお掛けすることがあるかと思いますが、精一杯努めさせて頂きますので宜しくお願い致します。

ていくことが何より大切な事と言えます。また神社境内に結んで帰る習わしもありますが、持ち帰っても問題はなく、引いた「おみくじ」を充分に読み返し、自分自身の行動に照らし合わせてみたいものです。

編集後記

お正月は新しいお札をおまつりしましょう。

新年を迎えるにあたり神棚を清め、旧年中におまつりした神宮のお札・氏神社・崇敬神社のお札を新しいお札にしてください、新たな気持ちで新年を迎えましょう。